

プレクストークポータブルレコーダを
使って録音図書をつくろう。



PLEXTALK
PORTABLE RECORDER

プレクスター株式会社

目次

1. はじめに.....	4
1. 1 本書に関して.....	4
1. 2 録音方法について.....	4
1. 3 音声ガイド機能について.....	4
1. 4 用語説明.....	4
1. 5 PTR1の各部の名称とはたらき.....	6
2. 録音図書製作のながれ.....	12
2. 1 図書製作のながれ.....	12
3. 録音図書の構成を決めます.....	13
3. 1 見出し構成を決めます.....	13
3. 2 セクションレベルを決めます.....	14
3. 3 ページ設定を決めます.....	14
4. 事前準備をします.....	15
4. 1 必要なものを用意します.....	15
4. 2 PTR1の準備をします.....	17
4. 3 PTR1の設定をします.....	17
5. 録音音量を調節します.....	21
6. 録音します.....	22
6. 1 録音の開始と停止をします.....	22
6. 2 図書の先頭、最後に移動します.....	22
6. 3 読み違えた箇所を録音中に上書き修正します.....	23
6. 4 録音中に見出しやページを付けます(見出しを付けないと、レベル設定はできません).....	24
6. 5 録音時間と残り録音可能時間を確認します.....	25
6. 6 見出しにセクションレベルを設定します.....	26
6. 7 フレーズにグループを設定します.....	26
7. 録音内容を確認し、自校正します.....	27
7. 1 見出しの確認と修正を行います.....	27
7. 2 ページの確認と修正を行います.....	29
7. 3 読み直したい箇所にパンチイン録音します.....	31
7. 4 読み忘れした箇所に挿入録音します.....	32
7. 5 間違った音声や不要な音声を削除します(フレーズ切り取り).....	33
7. 6 フレーズを移動します(フレーズ切り取りとフレーズ貼り付け).....	34

8. バックアップとCDファイナライズ	35
8. 1 カードからディスクにバックアップします	35
8. 2 CDファイナライズします	36
9. その他の機能	37
9. 1 PCカードに録音した内容を全消去します	37
9. 2 CD-RWの内容を全消去します	37
9. 3 フレーズを分割します	37
9. 4 フレーズを結合します	38
9. 5 誤って実行した編集を元に戻します	38
9. 6 録音編集情報を保存します	39
9. 7 保存情報を検索します	39
10. 質問コーナー	41
11. 索引	43

1. はじめに

1.1 本書に関して

本書は音訳ボランティアの方々が、PTR1を使ってデジタル録音図書を録音・編集するためのユーザーズマニュアルです。デジタル録音図書制作の手順を、流れに沿ってできるだけわかりやすく示したものです。音訳を行う上で、従来のカセットデッキに代わるものとして、PTR1をご使用いただく際の手引きとしてご活用ください。

本書で「♪」マークの入っている部分は、「音声ガイドの内容」であることを表します。

1.2 録音方法について

PTR1には3つの録音方法があります。それぞれの方法について説明します。

●挿入録音

通常はこの設定で録音を行います。新規作成時に録音する場合や、一度録音した図書で読み忘れがあったような場合に使用します。工場出荷時はこの設定になっています。(7.4 項参照)

●上書き録音

音訳時に間違いに気付いた時に使用します。録音ポーズ状態のときにのみ利用できます。(6.3 項参照)

●パンチイン録音

音訳後に間違った箇所を読み直す際に使用します。間違った部分のフレーズを指定し、その部分を置き換えることができます。(7.3 項参照)

1.3 音声ガイド機能について

●PTR1はあらゆる操作を音声ガイドで指示する機能があります。なお、音声ガイドの途中でも、次の操作を行うことができます。

●メニュー操作中に今、何の操作をしているかわからなくなった場合は、5キーを押し続けると、音声ガイドで操作内容を読み上げてくれます。

1.4 用語説明

DAISY 編集時に使用される主な用語に関して説明します。

(1) フレーズ

DAISY 編集で扱うことのできる音声情報の最小単位のことを「フレーズ」と呼び、通常はしゃべり始めた場所から、文章中の句読点のような間が入った場所までが、1フレーズとして区切られます。

例.

昔々あるところに、(間)おじいさんとおばあさんが住んでいました。(間)

フレーズ1

フレーズ2

おじいさんは山に芝刈りに、(間)おばあさんは川に洗濯に行きました。(間)

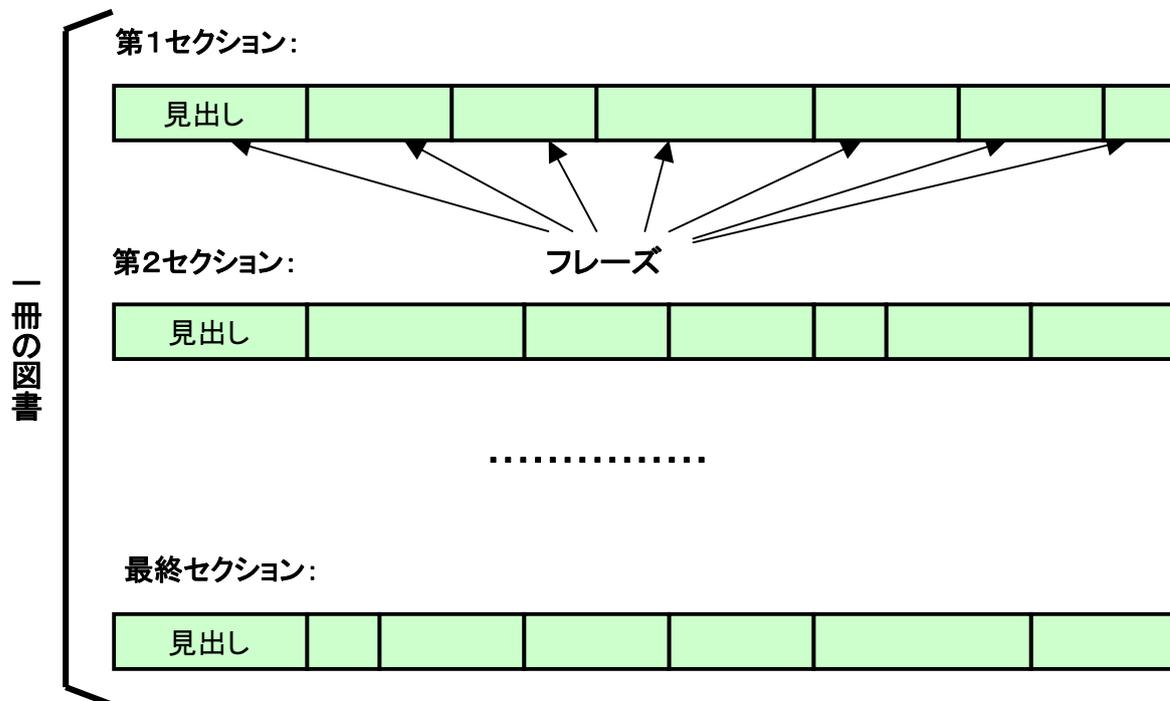
フレーズ3

フレーズ4

(2) セクション

「セクション」とは、図書の見出し(目次)構成の一項目に相当するもので、複数のフレーズが集まって構成されます。また複数セクションの集まりが、一冊の図書を構成します。

図書の概念



(3) 見出し

各セクションの先頭フレーズのことを「見出し」と呼びます。

(4) セクションレベル

セクションに付ける階層レベルのことを「セクションレベル」と呼びます。

例えば図書の見出し構成が「章・節・項」からなる図書であれば、「章」をレベル1に、「節」をレベル2に、「項」をレベル3に設定します。セクションレベルは1から6まで設定できます。

(5) グループ

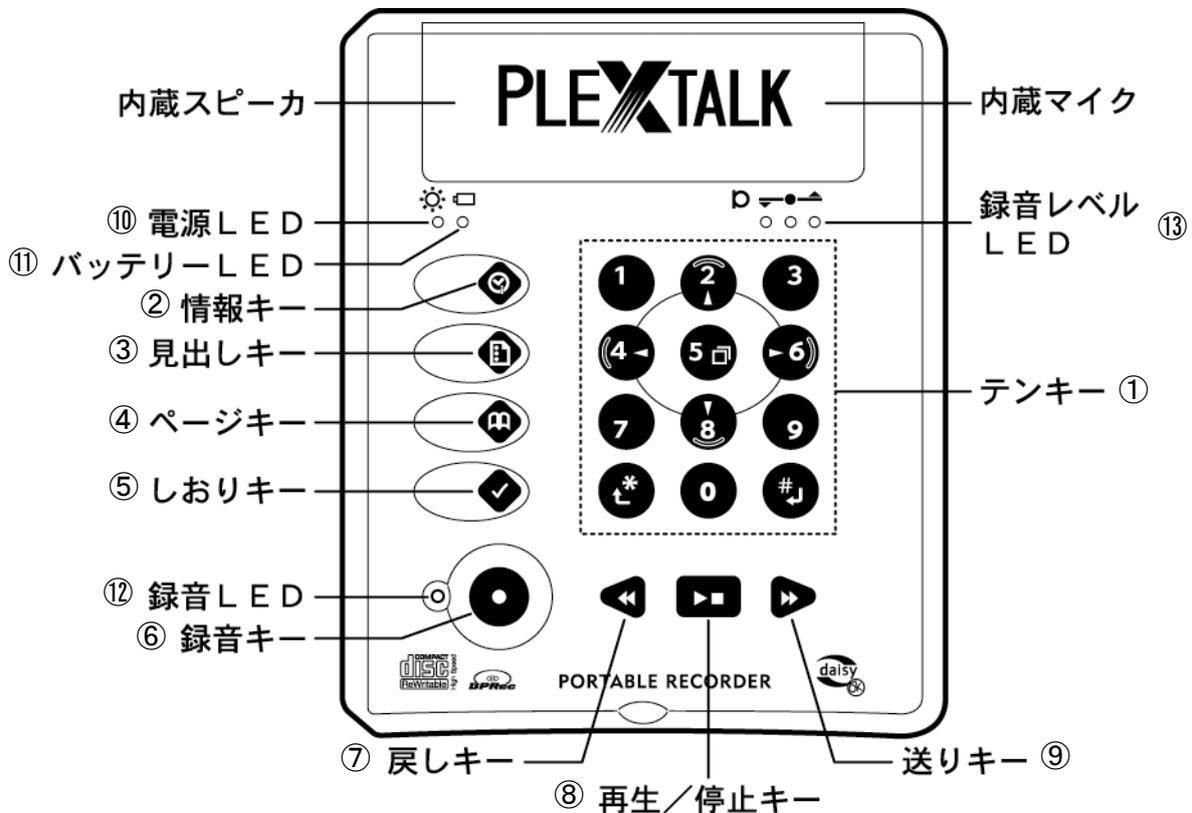
セクション内の特定フレーズに付ける印のことを「グループ」と呼びます。

たとえば段落の先頭フレーズや、図表説明部分の先頭フレーズにグループを付けることで、段落による飛ばし読み、図表説明の飛ばし読みを行うことができますようになります。

ただし、「グループ」に対応していないDAISYプレーヤも存在するため、ご注意ください。

1.5 PTR1の各部の名称とはたらき

上面



① テンキー

主に編集作業やページに移動するときなどに使用します。ここでは特別な役割を持つキーについて説明します。

- ・1キー:再生/停止状態で押すと、挿入録音とパンチイン録音の切り替えができます。
- ・2キー、8キー:再生/停止状態で押すと、検索単位(メディア選択、レベル、ページ、グループ)を変更できます。
- ・3キー:再生/停止状態で押すと、通常再生と特殊再生の切り替えができます。
- ・4キー、6キー:5キーでメニューに入り、項目を選択するときに使用します。
- ・5キー:再生/停止状態で押すと、メニューに入ります。
メニューに入った後に、押し続けると、現在選択している項目の詳しい説明をガイドします。
- ・7キー:録音・録音ポーズ状態で押すと、グループを設定できます。
- ・*キー:メニューに入り、誤った項目を選択したときに押すと、前のメニューに戻ります。
- ・#キー(8キー):メニューに入って押すと、その操作を実行します。

② 情報キー

再生/停止状態や録音ポーズ状態で押し続けると、録音可能時間をガイドします。その場合、選択されている録音音質(4.3項参照)における録音可能時間をガイドしますので、録音音質を変更すると、録音可能時間も変化します。

③ 見出しキー

録音・録音ポーズ状態で押すと、見出しを設定できます。再生/停止状態で押し続けると、現在の見出し番号や見出し合計数などをガイドします。

④ ページキー

録音・録音ポーズ状態で押すと、ページを設定できます。再生／停止状態で押し続けると、現在のページ番号や最大ページ番号などをガイドします。

⑤ しおりキー

音訳時には使用しません。

⑥ 録音キー

録音するときに使用します。

再生／停止状態で押すと、録音音量確認状態になります。録音音量確認状態で押すと、録音が始まります。録音状態で押すと、録音ポーズ状態になります。録音ポーズ状態で押すと、録音を再開します。

⑦ 戻しキー

再生設定が通常再生のとき：再生／停止状態で押すと、1フレーズ戻すことができます。

再生設定が編集再生(4.3.2 項参照)のとき：再生／停止状態で押すと、1フレーズ戻り、そのフレーズの再生が終わると自動的に停止します。

⑧ 再生／停止キー

再生設定が通常再生のとき：再生と停止の切り替えができます。

再生設定が編集再生のとき：現在のフレーズを再生して自動的に停止します。停止してから続けて押した場合も、同じフレーズを再生して停止します。次や前のフレーズに移動したい場合は、送りキーや戻しキーを使用します。

⑨ 送りキー

再生設定が通常再生のとき：再生／停止状態で押すと、1フレーズ進むことができます。

再生設定が編集再生のとき：再生／停止状態で押すと、1フレーズ進み、そのフレーズの再生が終わると自動的に停止します。

⑩ 電源LED(ランプ)

電源が入っているときは緑色に点灯します。入っていない時は消灯します。

⑪ バッテリーLED(ランプ)

バッテリーの充電中は赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。

⑫ 録音LED(ランプ)

録音音量確認状態や、録音ポーズ状態では赤色に点滅し、録音状態では赤色に点灯します。

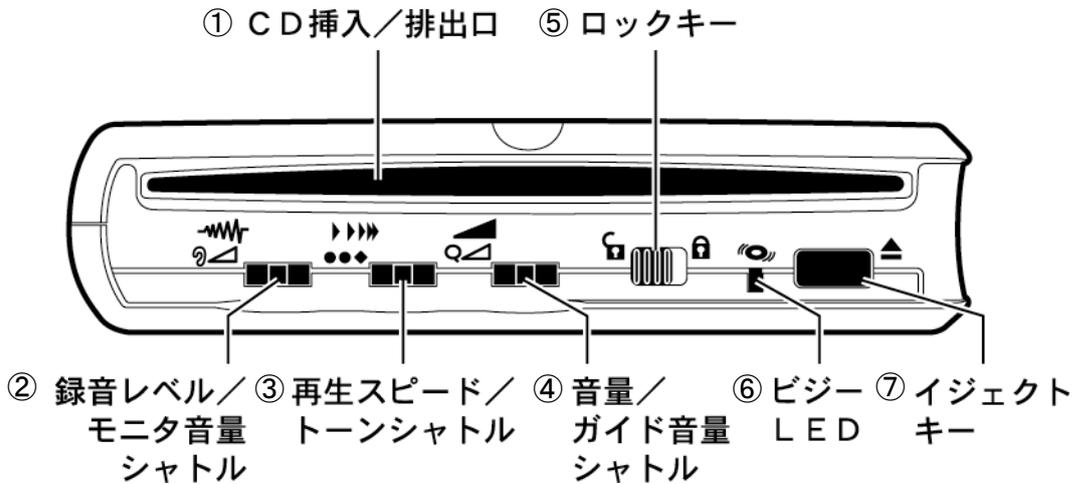
⑬ 録音レベルLED(ランプ)

録音レベルが表示されます。「小さい」ときは1番左のLEDのみが点灯し、「良い」ときは左から2つのLEDが点灯し、「大きい」ときは3つのLEDが全て点灯します。

録音は「良い」の状態が多くなるようにして行なってください。

また再生中には再生レベルが表示されます。

正面



シャトルとは？

シャトルとは、小さなレバーのようなスイッチのことです。右、左および奥側の3つの方向に動かすことができ、指を放すと中央の位置に戻ります。シャトルを右に動かし指を放すと、音量などの値が1段階大きくなります。左に動かし指を放すと、音量などの値が1段階小さくなります。右または左に動かし、そのまま指を放さずにいると、一気に上げ下げすることができます。

また1つのシャトルで「音量」と「ガイド音量」のように、2つの設定項目を切り換えて調整することができます。設定項目の切り替えは、シャトルを奥方向へ押すことで行ないます。

① CD 挿入／排出口

CDの挿入は、DAISY 図書や音楽 CD を裸の状態記録面を下にして CD 挿入／排出口に差し込みます。全体の約 1/3 を差し込むと自動的に引き込まれます(スロットイン方式)。

正しく CD が読み込まれると DAISY 図書のタイトルをガイドします。

再生対象でない CD を挿入した場合や、表裏を逆に挿入した場合は「再生できないディスクです」という音声ガイドがあります。

CD の排出はイジェクトキーを押してから、取り出します。

② 録音レベル／モニタ音量シャトル

左端のシャトルで、「録音音量」と「モニタ音量」の調整を行います。シャトルを奥側に押すことで「録音音量」と「モニタ音量」の切り替えができます。

録音音量(録音レベル)は、シャトルを右に廻すと大きくなり、左に廻すと小さくなります。

モニタ音量は、シャトルを右に廻すと大きくなり、左に廻すと小さくなります。

「モニタ音量」とは、録音している音声の再生ボリュームを調整するためのもので、ラインインや、外付けマイクで録音中の音声を、ヘッドホンを通してモニタリングするような場合に使用します。

③ 再生スピード／トーンシャトル

中央のシャトルで、再生音の「スピード」と「トーン」の調整を行います。シャトルを奥側に押すことで「スピード」と「トーン」の切り替えができます。

スピード(再生速度)は、シャトルを右に廻すと速くなり、左に廻すと遅くなります。

トーン(音質)は、シャトルを右に廻すと高音域を強調し、左に廻すと低音域を強調します。

④ 音量／ガイド音量シャトル

右端のシャトルで、再生音の「音量」と「ガイド音量」の調整を行います。シャトルを奥側に押すことで「音量」と「ガイド音量」の切り替えができます。

音量(再生ボリューム)は、シャトルを右に廻すと大きくなり、左に廻すと小さくなります。

ガイド音量(音声ガイドボリューム)は、シャトルを右に廻すと大きくなり、左に廻すと小さくなります。

⑤ ロックキー

本機を持ち運ぶ際にキーが、誤って押されても誤動作しないようにロックするときに使います。

なお、電源スイッチはロックされません。ロックキーを右にスライドすると「キーロックON」され、左にスライドすると「キーロックOFF」されます。

キーロックONの状態では、キーやシャトルを押し続けると、キー説明をガイドします。

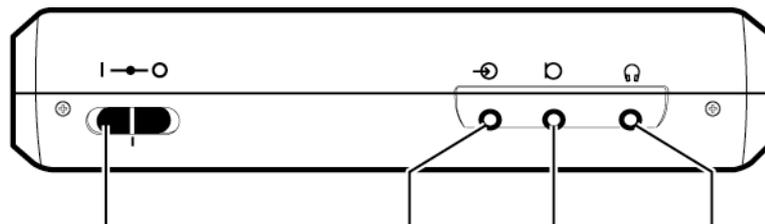
⑥ ビジーLED(ランプ)

CDが挿入されていないとき、CDが停止しているときは消灯し、CDアクセス中(再生、録音など)は点灯します。

⑦ イジェクトキー

CDを本体から排出します。押し続けると、強制的に排出します。

左側面



① 電源スイッチ ④ ラインイン ③外付けマイク ②ヘッドホン
ジャック(黒) ジャック(青) ジャック(緑)

① 電源スイッチ

スイッチを奥側にスライドするとON、手前側にスライドするとOFFになります。

② ヘッドホンジャック(緑)

一番手前の緑色のジャック(ステレオ)で、ヘッドホンの端子を挿入します。接続すると「ヘッドホン」という音声ガイドがあります。

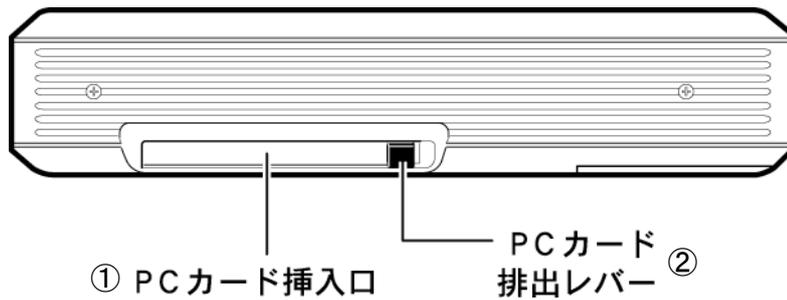
③ 外付けマイクジャック(青)

中央の青色のジャック(モノラル)で、外付けマイクの端子を挿入します。接続すると「外付けマイク」という音声ガイドがあります。

④ ラインインジャック(黒)

一番奥側の黒色のジャック(ステレオ)で、付属のオーディオケーブルを挿入します。接続すると「ラインイン」という音声ガイドがあります。

右側面



① PCカード挿入口

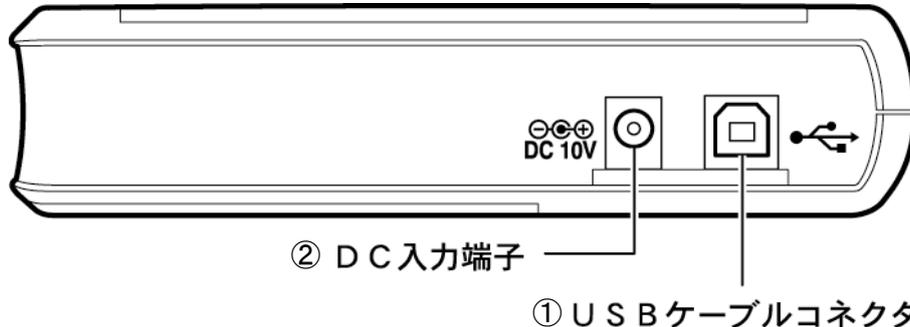
PCカードを使用するときは、ここに挿入します。カードを挿入すると「カード」「しばらくお待ちください…」という音声ガイドがあり、PCカードが選択された状態になります。

② PCカード排出レバー

PCカード挿入口の奥側にあります。PCカードを取り出すときは、排出レバーの頭部を奥側に深く押しとレバーの頭部が本機から突き出ます。もう一度レバーを奥側に押しと、PCカードの端が本体から出るので、PCカードを引き出します。PCカードを取り出した後は、PCカード排出レバーを奥側に深く押しと本体内に収めておきます。

※ PCカードは必ず電源がOFFになっている状態で取り出してください。

背面



① USBケーブルコネクタ

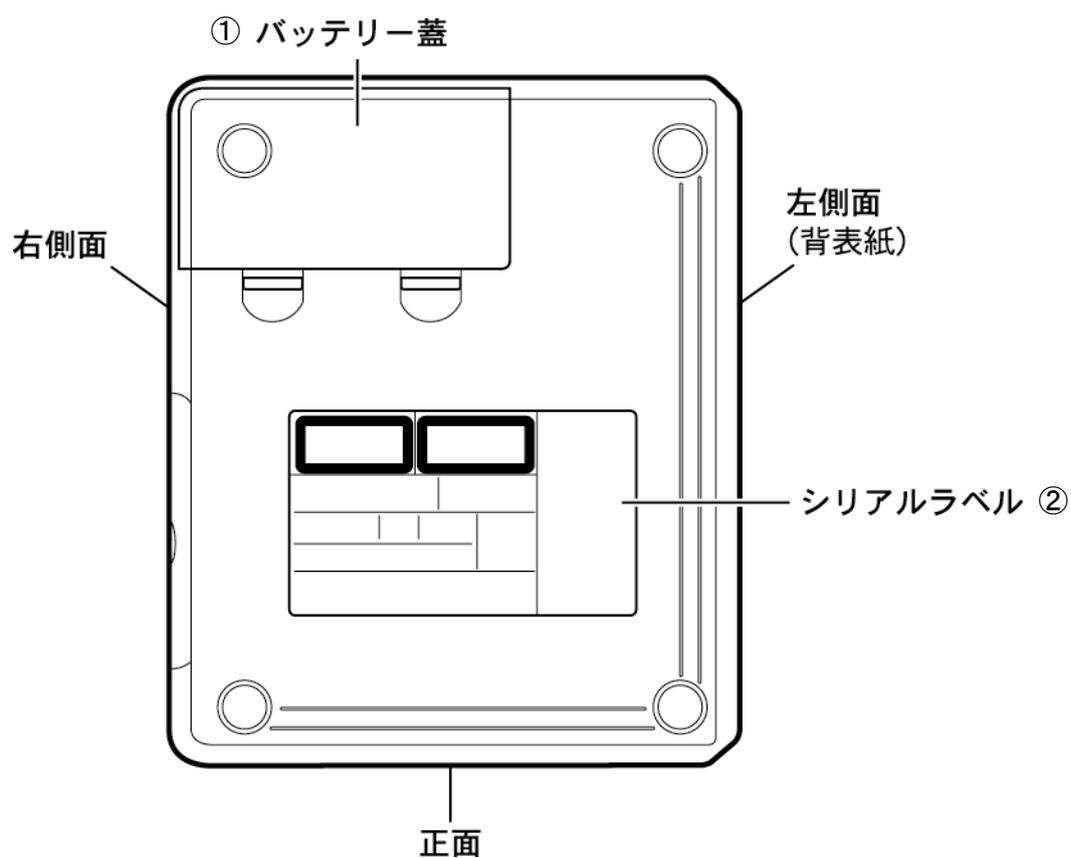
背面の右端の四角い穴がUSBケーブルコネクタです。付属のUSBケーブルの四角い方のコネクタを接続します。USBケーブルの反対側をパソコンのUSBコネクタに接続し、本機をCD-R/RWドライブとして使用するときに使います。

② DC入力端子

付属のACアダプタを接続します。

※ 付属のACアダプタ以外を使用すると本機の故障の原因になります。必ず、付属のACアダプタを使用してください。

底面



① バッテリー蓋

バッテリーの装着や交換は、両手で2ヶ所のツメを押しながら外します。

② シリアルラベル

型番、シリアル(製造)番号、製造年月などが記入されています。

2. 録音図書製作のながれ

2.1 図書制作のながれ

ここでは、音訳から録音図書完成までの、大きな流れを説明します。

<Step 1>

図書の構成を決定

1. 本の構成を決定

原本の目次などを参考に、見出し、レベル(階層)、ページの付け方を決めます。

<Step 2>

事前準備

2. 必要なものを用意

マイク、PCカード、CD-R/RWなどを準備します。

3. PTR1の設定

音訳・編集に適したPTR1の録音設定・再生設定を行います。

<Step 3>

録音音量を調節

4. 録音音量を調節

マイクに向かって朗読をして、録音音量を調節します。

<Step 4>

PCカードに録音

5. 録音開始

録音キーを押して録音を開始します。

6. 録音中の編集

見出しやページの変り目で、見出しキー、ページキーを押します。

<Step 5>

自校正

7. 録音・編集したものを確認

再生して自校正し、見出しやページが正しく設定されていることを確認します。

<Step 6>

校正依頼(ディスク)

8. ディスクにバックアップ

PCカードからディスクにバックアップします。

9. 校正依頼

校正者に、バックアップしたディスクを渡します。

<Step 7>

訂正(PCカード)

10. 指摘された箇所を訂正

PCカードで訂正します。

11. ディスクにバックアップ

PCカードからディスクにバックアップします。

<Step 8>

仕上げ

12. CDファイナライズ

パソコン編集者にディスクを渡し、CDコピー等にそなえ調整します。

3. 録音図書の構成を決めます

通常は点字図書館やボランティア団体内で決められた録音図書の構成ルールに従ってください。
以下は録音図書の構成ルールを決める際の参考にしてください。

3.1 見出し構成を決めます

原本の目次に沿って、見出し構成を決めます。

目次上に記述されている各項目名や「はじめに」、「あとがき」、「著者略歴」、「奥付」などをそれぞれ見出しとして分けます。

PTR1では、録音・録音ポーズ中に、セクションの切り替わる手前で見出しキーを押すことで、見出しを設定することができます。

また再生／停止中には、設定したい場所に合わせて見出しキーを2回押すことによって、その位置に見出しを設定することができます。

(例)

見出し(セクション)番号	見出し名
1	明日の道標(タイトル名)
2	はじめに
3	目次
4	第1章 出会い
5	東京駅北口
6	山手線
7	第2章 二人だけの旅行
8	蓼科に向かって
9	思わぬ事故
10	第3章 引き裂かれた二人
11	戸籍謄本
12	明日に向かって
13	あとがき
14	著者略歴
15	奥付

3.2 セクションレベルを決めます

原本の構成に合わせて、これから作成する図書のセクションレベルをどのようにするかを決めます。
この例では、レベル1(章)とレベル2(節)までを設定しています。

PTR1では、編集メニューの「セクションレベル設定」から、各見出しのセクションレベルを設定することができます。

(例)

見出し(セクション)番号	見出し名	セクションレベル
1	明日の道標(タイトル名)	1
2	はじめに	1
3	目次	1
4	第1章 出会い	1
5	東京駅北口	2
6	山手線	2
7	第2章 二人だけの旅行	1
8	蓼科に向かって	2
9	思わぬ事故	2
10	第3章 引き裂かれた二人	1
11	戸籍謄本	2
12	明日に向かって	2
13	あとがき	1
14	著者略歴	1
15	奥付	1

3.3 ページ設定を決めます

これから作成する図書のどの場所にページを割り振るかを決定します。

ページが切り替わるフレーズに対してページ設定を行います。

PTR1では、録音・録音ポーズ中にページの切り替わる手前でページキーを押すことで、ページを設定することができます。

また再生/停止中には、設定したい場所に合わせて、ページキーを2回押すことによって、その位置にページを設定することができます。

PTR1でページ設定を行う場合、ページ番号は1から順番に自動的に割り振られるために、任意のページ番号を付けることはできません。

4. 事前準備をします

4. 1 必要なものを用意します

- プレクストークポータブルレコーダ (PTR1)
- PCメモリーカード (コンパクトフラッシュカード)

<コンパクトフラッシュカード>

コンパクトフラッシュカードは、お近くのPC店で販売されています。
なおPTR1で使用するにはコンパクトフラッシュ用アダプタが別途必要になります。
以下に一般的な製品と定価を示します。(2012年12月現在の情報です)



- ・容量 4GB サンディスク SDCFHG-004G-J95 オープンプライス
- ・容量 8GB サンディスク SDCFHG-008G-J95 オープンプライス

<http://www.sandisk.co.jp/products/compact-flash-card>

<コンパクトフラッシュ用アダプタ(PC Card Type II 用)>



- ・サンワサプライ ADR-CFK(生産終了)
- ・I-O DATA PCCF-ADP(生産終了)

※PCカードを取り出すときは、必ずPTR1の電源がOFFになっている状態で取り出してください。電源がONの状態では取り出すと、録音内容が消えたり、編集内容が反映されない恐れがあります。

- CD-R/RWメディア(下記メーカーのメディアをご使用ください。)

メディアの種類	メーカー
CD-R	太陽誘電、TDK、Maxell
CD-RW	三菱化学、Maxell

※ ディスク表面にラベルシールを貼りつけると、排出時に引っかかり排出できなくなる場合がありますので貼らないようにしてください。点字ラベルや、ディスクの全面に貼りつけるタイプのラベルシールも含まれます。

●ヘッドホン(任意)

ヘッドホンは使用しなくても録音できます。使用しない場合は、下記2点の項目にご注意ください。

① 録音中音声ガイド設定(4.3.3 項参照)

メニューの「管理」から「録音中音声ガイド設定」→「録音中のガイドを切り換え」→「再生しない」に設定します。

② モニタ音量(4.3.4 項参照)

録音中のハウリングを避けるために、モニタ音量は「ゼロ」に調整します。

●外付け用マイク

朗読用には単一指向性マイクが適切です。

PTR1との接続は、モノラルミニジャックタイプですので、必要に応じて変換アダプタを別途購入してください。

推奨朗読用マイクの一例を下記に示します。

<ダイナミックマイク>

- ・ SONY F-V420 単一指向性 モノラル ¥4,095(希望小売価格)

<http://www.sony.jp/microphone/products/F-V420/>

- ・ SONY F-V620 単一指向性 モノラル ¥6,090(希望小売価格)

<http://www.sony.jp/microphone/products/F-V620/>

- ・ SHURE SM58 単一指向性 モノラル

<http://www.shure.co.jp/ja/products/microphones/sm58>

4. 2 PTR1の準備をします

＜手順＞バッテリーを入れます

1. 底面の左上部のバッテリー蓋を両手で開けます。
2. 突起部分を右にし、約2cmの窪みがある面を下にして持ちます。
3. バッテリーを穴に沿って入れます。
4. 蓋を確実に閉めます。

＜手順＞電源ケーブルを接続します。

1. 背面のDC入力端子に、ACアダプタを接続します。
 2. ACアダプタに電源コードを接続します。
 3. 電源コードをコンセントに差し込みます。
- バッテリーLEDが赤く点灯します。(フル充電になると緑色に点灯します)

4. 3 PTR1の設定をします

ここでは、録音設定と再生設定の操作方法について説明します。

録音設定は録音する場所や音訊のスピードに合わせるために行います。再生設定はフレーズごとに再生する編集再生に合わせるために行います。また、これらの設定は、一度行えばその都度設定する必要はありません。

4. 3. 1 録音設定をします

＜操作方法＞(工場出荷時の設定から操作した場合)

1. 電源を入れます。
♪ 「ディスク しばらくお待ちください。ディスクがありません。」
2. 外付けマイクと、必要に応じてヘッドホンを接続します。
3. PCカードを挿入します。
♪ 「カード。しばらくお待ちください。DAISY図書がありません。録音キーで新規タイトル作成。」
(PCカードに既にタイトルが録音されている場合には、タイトル名が再生されます。PCカードを全消去した場合には 9.1 項を参照してください。)
4. 5キーを押してから、6キーで「録音設定」を選択し、#キーで決定します。
♪ 「入力元を選択 外付けマイク」
5. #キーを押して、「外付けマイク」で決定します。
♪ 「録音設定を選択 朗読」
6. 以下同様に、下表のように、設定内容を6または4キーで選択し、#キーで決定していきます。

設定項目	設定内容
録音設定	カスタム設定
音質	MP3 32K または MP3 64K
録音開始タイミング	録音キー操作時
セクションの自動分割	しない
フレーズの自動分割時間	例えば 0.4 秒
入力音のノイズ量	標準
録音の自動停止時間	例えば 5 分
倍速録音設定	標準

7. 設定が完了すると、以下のガイドがあり、録音音量確認状態になります。
♪ 「設定しました。」「録音先カード、現在の設定、DAISY 形式、カスタム設定、入力、外付けマイク」

(ポイント)

- ・ 4または6キーで、設定項目と設定内容を選択し、#キーで決定していきます。
- ・ 設定を間違えた場合には、*キーでキャンセルすると一つ前の設定項目に戻ることができます。
- ・ 音声ガイドを聞き逃した場合には、5キーを押し続けると、現在設定している項目名をガイドします。

< カスタム設定の各項目の詳細 >

1. 音質

PTR1ではDAISY形式で録音する場合、5種類の音質(PCM、MP3 128K、64K、32K、16K)が選択できますが、朗読用には「MP3 32K」または「MP3 64K」のいずれかを選択してください。

録音可能時間の目安は下表の通りです。

音質	CD(650MB)	PCカード(128MB)	PCカード(256MB)	PCカード(512MB)
MP3 64Kbps(高音質)	20 時間	4 時間	8 時間	16 時間
MP3 32Kbps(標準)	40 時間	8 時間	16 時間	32 時間

* この録音時間には、読み違いや編集で削除された音声の録音時間も含まれます。

2. 録音開始タイミングの切り替え

「音声検知時」と「録音キー操作時」の2つから選択できます。

「音声検知時」は録音キーを押しても、録音は直ぐには開始されません。PTR1が音声を検知したときに録音を開始します。

「録音キー操作時」は録音キーを押した時点で録音が始まります。通常の場合、朗読では「録音キー操作時」を選択します。

3. セクションの自動分割の選択

録音中に、ここで設定した時間以上の無音が続いたときに、PTR1が自動で見出し設定を行います。朗読の場合、「しない」を選択します。従って自動的に見出し設定されることはありません。

(音訊)	無音	(音訊)
------	----	------

ここで見出しが
設定されます。

4. フレーズの自動分割時間の選択

PTR1は入力音声の無音の長さを検出してフレーズを分割します。この長さを長くするとフレーズが切れにくくなり、短くすると切れやすくなります。「0.2 秒」から「1.0 秒」まで5段階を選択できます。音訳者の読みと、朗読する本の内容によって決定します。

5. 入力音のノイズ量の選択

ここでは録音環境のバックグラウンドノイズの大きさを設定します。

家庭で録音する場合は「標準」を選択、図書館のスタジオなどで録音する場合は「少ない」を選択します。

6. 録音の自動停止時間の選択

設定した時間以上の無音が続いた場合、録音を自動的に停止します。「なし」から最大5分まで選べます。

7. 倍速録音設定を選択

朗読で使用する場合は「標準」を選択します。

4.3.2 再生設定をします

再生設定を「編集再生」に変更します。

編集再生では1フレーズを再生すると自動的に停止しますので、見出しやページを設定するときに、行き過ぎることがないので大変便利です。

＜操作方法＞（「通常再生」(連続再生)を「編集再生」(フレーズ再生)に変更します。）

1. DAISY 図書 CD (付属の取扱説明書 DAISY 版など)を挿入します。
2. メニューから「再生設定」を選ぶため5キーを押します。
♪ 「メニュー 編集」
3. 4または6キーで「再生設定」を選び、#キーを押します。
♪ 「再生方法を選択 通常再生」……
4. 4または6キーで「編集再生」を選び、#キーを押します。
♪ 「決定 設定しました。」
これで再生設定が「編集再生」になります。

(ポイント) 再生／停止状態で3キーを押すと、通常再生と編集再生の切り替えができます。

4.3.3 音声ガイドの設定をします

録音中音声ガイド設定を「再生しない」に設定することで、「録音中の音声ガイド」を消すことができます。ヘッドホンなしで録音する場合には、音声ガイドをマイクで拾わないようにするために必ずこの設定を行ってください。

1. メニューから「管理」を選ぶため5キーを押します。
♪ 「メニュー 編集」
2. 4または6キーで「管理」を選び、#キーを押します。
♪ 「管理項目を選択 設定を初期化」……
3. 4または6キーで「録音中音声ガイド設定」を選び、#キーを押します。
♪ 「録音中のガイドを切り換え 再生する。」……
4. 4または6キーで「再生しない」を選び、#キーを押します。
♪ 「決定 設定しました。」

4.3.4 モニタ音量の調節をします

モニタ音量とは、現在録音している音声の再生ボリュームを調整するためのもので、PTR1本体手前側の一番左側のシャトルを使用して調整します。シャトルを奥側に押すことで「録音レベル」と「モニタ音量」が切り換わります。

シャトルを右側に廻すと音量が大きくなり、左側に廻すと音量が小さくなります。

ヘッドホンを使用して録音する場合には、適切なレベルに調整します。

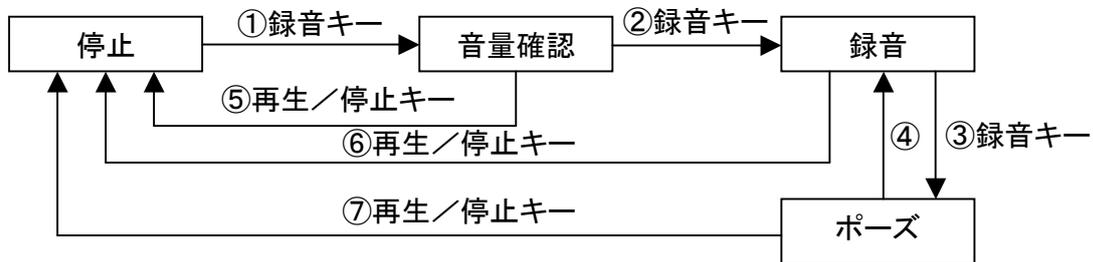
ヘッドホンなしで録音する場合は、必ずモニタ音量を「ゼロ」に調節してください。

「ゼロ」にしないと、内蔵スピーカからモニタ音が出力されるため、ハウリングの原因となります。

なお工場出荷時のモニタ音量は「5」に設定されています。

(ご注意) 音量調節とモニタ音量調節とは別の機能ですので、ご注意ください。

<停止状態から録音状態への流れ>



- ①:「停止」状態から、録音キーを押すと「音量確認」状態になります。
- ②:「音量確認」状態から、録音キーを押すと「録音」状態になります。
- ③:「録音」状態から、録音キーを押すと「ポーズ」状態になります。
- ④:「ポーズ」状態から、録音キーを押すと「録音」状態になります。
- ⑤:「音量確認」状態から、再生/停止キーを押すと「停止」状態になります。
- ⑥:「録音」状態から、再生/停止キーを押すと「停止」状態になります。
- ⑦:「ポーズ」状態から、再生/停止キーを押すと「停止」状態になります。

5. 録音音量を調節します

録音音量を調節する方法を説明します。

<操作方法>

1. カードを入れたままの状態電源を入れます。
♪ 「カード。しばらくお待ちください。DAISY図書がありません。録音キーで新規タイトル作成」
(ご注意)メディアがカードに選択されていない場合は、2キーを押してメディア選択レベルにしてから4または6キーを押して、メディアをカードに変更します。
2. 録音キーを押して新規タイトルを作成します。
ここでいう「新規タイトル」とは、これから録音するものを格納するための器のようなものです。
録音キーを一度押して、この器を作ります。その後、自動的に録音音量確認状態になります。
♪ 「DAISY 図書を作成しています。」「実行しました。」「録音キーで録音開始」「録音先カード」
「現在の設定 DAISY 形式、カスタム設定」「入力外付けマイク」
3. 録音音量を調節します。
正面の一番左側のシャトルを手前から奥に押して「録音音量」の音声ガイドに合わせた後、音声ガイドが「良い」となるよう、シャトルを左右に廻しながら録音音量を調節します。「小さい」時は右に廻し、「大きい」時は左へ廻します。
(ポイント)ガイドが「良い」になったときの口とマイクの距離を覚えておきましょう。また、録音音量の値をメモしておき次回の録音音量確認状態のとき参考にしましょう。
4. 再生／停止キーを押して、音量確認を停止します。

6. 録音します

ここでは実際の録音方法を説明します。

6. 1 録音の開始と停止をします

<操作方法>

1. 停止状態から録音キーを押し、録音音量確認状態にします。このとき録音 LED は点滅します。
♪ 「音量確認、録音先カード、現在の設定 DAISY 形式、カスタム設定、入力外付けマイク」
2. 録音キーを押し、録音を開始します。このとき録音 LED は点灯します。
3. 録音を停止するには、再生／停止キーを押します。
♪ 「ピロロン」
4. もう一度、再生／停止キーを押すと、録音した最後のフレーズが再生され、♪ 「最後です」という音声ガイドがあります。

6. 2 図書の先頭、最後に移動します

録音した図書の先頭に移動する場合と、最後に移動する場合の操作方法について説明します。
前回まで録音した内容の続きに録音したい時は、必ず最後に移動してから、録音を再開してください。

6. 2. 1 図書の先頭に移動します

<操作方法>

1. 再生／停止状態から見出しキーを押します。
♪ 「移動先の見出し番号を入力 番号無しでタイトル先頭に移動 0番で最後に移動」
2. #キーを押します。
♪ 「先頭です。」
録音した先頭から再生が始まります。

6. 2. 2 図書の最後に移動します

<操作方法>

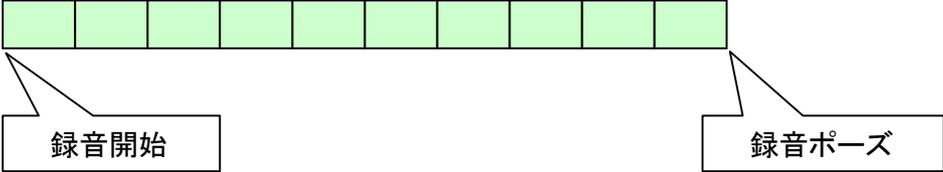
1. 再生／停止状態から見出しキーを押します。
♪ 「移動先の見出し番号を入力 番号無しでタイトル先頭に移動 0番で最後に移動」
2. 0キーを押してから、#キーを押します。
♪ 「決定、最後です。」

6.3 読み違えた箇所を録音中に上書き修正します

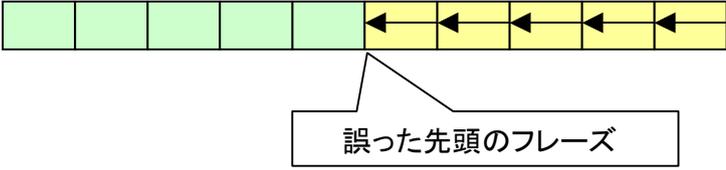
上書き録音とは、音訳中に読み違えに気付いたときに、その箇所まで戻って上書き修正する方法です。

<上書き録音の説明>

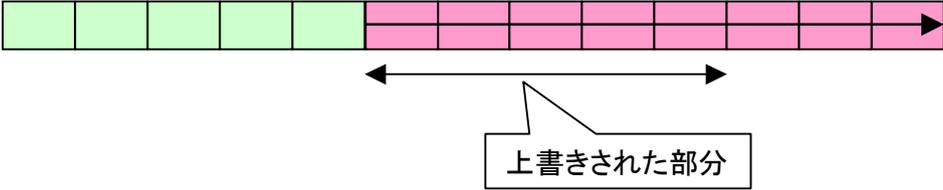
- ① 録音を開始し、途中で誤っていたことに気付いた場合、そこで録音ポーズ状態にします。
(録音中に録音キーを押すと録音ポーズ状態になり、録音 LED が点滅します。)



- ② 録音ポーズ中に、誤った先頭のフレーズまで、戻しキーを使用して戻します。



- ③ 録音キーを押して読み直しします。
(録音ポーズ中に録音キーを押すと、録音状態になり、録音 LED が赤く点灯します。)



誤った部分は、新たに録音した音声で上書きされます。

<操作方法>

1. (録音中に)録音キーを押して、録音ポーズの状態にします。
♪ 「ポーズ」(録音 LED が点灯から点滅に変わります。)
2. 戻しキーを押して、読み違えたフレーズまで戻します。
♪ ~読み違えたフレーズ~
3. 読み違えたフレーズが再生されたところで、録音キーを押して読み直しをします。
(録音 LED が点滅から点灯に変わります。)
このような操作で、読み違えた箇所が新規録音したもので上書きされます。

6. 4 録音中に見出しやページを付けます(見出しを付けないと、レベル設定はできません)

録音中に見出しやページを付ける方法を説明します。

6. 4. 1 録音中に見出しを付けます

例として、第2章と第3章に見出しを付ける方法を説明します。

<操作方法>

1. 第1章を録音し終わったところで、録音キーを押してポーズ状態にします。
♪ 「ポーズ」(録音 LED が点灯から点滅に変わります。)
2. 見出しキーを押します。
♪ 「見出し」
3. 録音キーを押して、ポーズ状態を解除し、第2章の録音を開始します。
(録音 LED が点滅から点灯に変わります。)
4. 第2章を録音し終わったところで、録音キーを押して、ポーズ状態にします。
♪ 「ポーズ」(録音 LED が点灯から点滅に変わります。)
5. 見出しキーを押します。
♪ 「見出し」
6. 録音キーを押して、ポーズ状態を解除し、第3章の録音を開始します。
(録音 LED が点滅から点灯に変わります。)
(ポイント)ポーズ状態で見出しキーを押すと、次に録音を行ったものに見出しが設定されます。
間違っで見出しキーを押した場合は、見出しキーを再度押すと見出し設定を取り消すことができます。
また録音進行中に見出しキーを押した場合でも、強制的に見出しを付けることができます。

6. 4. 2 録音中にページを付けます

例として1ページと2ページを付ける方法を説明します。

<操作方法>

1. 1ページの手前まで録音をし終わったところで、録音キーを押してポーズ状態にします。
♪ 「ポーズ」(録音 LED が点灯から点滅に変わります。)
2. ページキーを押します。
♪ 「ページ」
3. 録音キーを押して、ポーズ状態を解除し、1ページの録音を開始します。
(録音 LED が点滅から点灯に変わります。)
4. 2ページの手前まで録音し終わったところで、録音キーを押してポーズ状態にします。
♪ 「ポーズ」(録音 LED が点灯から点滅に変わります。)
5. ページキーを押します。
♪ 「ページ」
6. 録音キーを押して、ポーズ状態を解除し、2ページの録音を開始します。
(録音 LED が点滅から点灯に変わります。)
(ポイント)ポーズ状態でページキーを押すと、次に録音を行ったものにページが設定されます。
また録音進行中にページキーを押した場合でも、強制的にページを付けることができます。

6. 4. 3 無音フレーズにページを付けます

本文中の白紙部分に1ページをカウントしなければならない場合に、無音フレーズにページを付ける方法を説明します。

<操作方法>

1. 停止状態から録音キーを押して、録音音量確認状態にします。
♪ 「音量確認、録音先カード、現在の設定 DAISY 形式、カスタム設定、入力外付けマイク」
2. ページキーを押します。
♪ 「ページ」
3. 録音キーを押して数秒間無音を入れた後、再生/停止キーを押して録音を停止します。
(結果) 数秒間の無音フレーズにページが付きます。
(ご注意) 録音開始タイミングが「録音キー操作時」(4.3.1 項参照)のときにのみ使用できます。

6. 4. 4 追加録音内容の先頭に見出しやページを付けます

例えば前日に1章まで読み終わり、これから2章を録音するような場合、録音音量確認状態のときに見出しキーを押すことで、2章の先頭に見出しを設定することができます。

<操作方法>

1. 録音キーを押して、録音音量確認状態にします。このとき録音 LED は点滅します。
♪ 「音量確認、録音先カード、現在の設定 DAISY 形式、カスタム設定、入力外付けマイク」
2. 見出しキーまたはページキーを押します。
♪ 「見出し」または「ページ」
(ポイント)間違ってもキーを押した場合は、もう一度そのキーを押すことでキャンセルできます。
見出しとページの両方を設定することもできます。
3. 録音キーを押し、録音を開始します。このとき録音 LED は点灯します。
4. 録音を停止するには、再生/停止キーを押します。
♪ 「ピロロン」
(結果) 追加録音を開始したところに見出しまたはページが設定されます。

6. 5 録音時間と残り録音可能時間を確認します

使用中 PC カードの録音時間や、残り録音可能時間を確認する方法について説明します。

6. 5. 1 再生中、停止中の確認方法

<操作方法>

1. 再生中または停止中に、情報キーを押し続けます。
♪ 「(現在時刻)、録音可能時間○時間○分○秒、…」
(PC カードの録音可能時間については 4.3.1 項参照)

6. 5. 2 録音音量確認状態中、録音ポーズ中の確認方法

<操作方法>

1. 録音音量確認状態中に、情報キーを押し続けます。
♪ 「録音可能時間○時間○分○秒、…」
2. 録音ポーズ中に、情報キーを押し続けます。
♪ 「録音時間○時間○分○秒、録音可能時間○時間○分○秒、…」
(ご注意) ここでいう録音時間は、録音を開始してからの録音時間であり、トータル(累積)の録音時間ではありません。

6.6 見出しにセクションレベルを設定します

セクションにつける階層レベルを設定する方法について説明します。

見出し設定によりセクションが設定されますが、階層レベルはレベル1となっています。

<操作方法>

1. 3キーを押して「編集再生」を選択します。
♪ 「通常再生」「編集再生」
2. 5キーを押して、「編集」を選択して#キーを押します。
♪ 「メニュー 編集 決定」
♪ 「編集項目を選択、録音編集情報の保存」……
3. 4または6キーを押して、編集項目から「セクションレベル設定」を選択してから、#キーを押します。
♪ 「4、6キーでセクションを、2、8キーで設定するレベルを選択」
4. 4または6キーで、セクションレベルを変更したい見出しを選択します。
♪ 「レベル0（セクションの先頭フレーズ）」
5. 2または8キーで、セクションレベル(1から6まで)を選択します。
♪ 「レベル1」「レベル2」……
6. 続けて別の見出しのセクションレベルを設定したい場合は、4または6キーで見出しを選択し、2または8キーでセクションレベルを選択します。(1回の編集操作で、複数の見出しに対するセクションレベル設定を行うことができます)
7. 設定する見出しと、セクションレベルを選択し終わったら#キーを2回押します。
♪ 「セクションレベル設定を実行しますか？」
♪ 「決定 実行しました」

6.7 フレーズにグループを設定します

フレーズにグループを設定する方法について説明します。

<操作方法>

1. 3キーを押して「編集再生」を選択します。
♪ 「通常再生」「編集再生」
2. グループを設定したいフレーズを選択します。
3. 見出しキーを3回押します。(マルチタイトルの場合は4回押します)
♪ 「グループを設定しますか？」
4. #キーを押します。
♪ 「決定 実行しました。」

7. 録音内容を確認し、自校正します

7. 1 見出しの確認と修正を行います

7. 1. 1 見出し設定内容の修正

ここでは設定されている見出しの確認方法を説明します。

<操作方法>

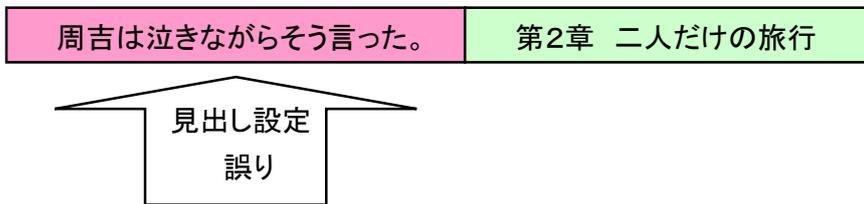
1. 3キーを押して「編集再生」を選択します。
 - ♪ 「通常再生」「編集再生」
2. 先頭に移動するために、見出しキーを押してから、#キーを押します。
 - ♪ 「移動先の見出し番号を入力 番号無しでタイトル先頭に移動 0番で最後に移動」
 - ♪ 「決定、先頭です。」
 - (ポイント) 編集再生の場合、先頭にジャンプした後、先頭フレーズは再生されません。
3. 2キーまたは8キーを押して「レベル1」にします。
4. 6キーを押して先頭の見出しに移動し、見出し設定されている音声の内容を確認します。
5. 以下同様に6キーを押して、次の見出しに移動し、最後の見出しまで内容確認を行います。
6. レベル2、レベル3、・・・、レベル6も同様に確認します。

7. 1. 2 見出しの修正

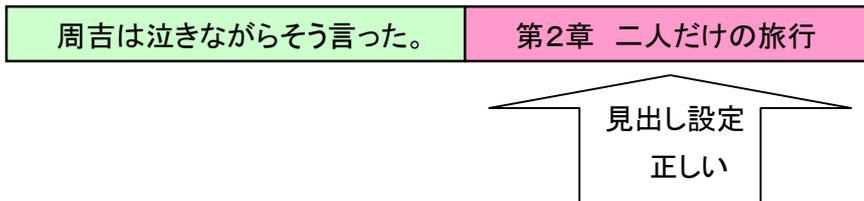
ここでは、見出しが誤った位置に付けられていた場合の修正方法を説明します。
例として、正しい位置の一つ前のフレーズに見出し設定されていた場合の修正方法を示します。

例

訂正前



訂正後



<操作方法>

- 3キーを押して「編集再生」を選択します。
♪ 「通常再生」「編集再生」
- 4キーか6キーを押して、誤って設定されている見出しに移動します。
♪ 「周吉は泣きながらそう言った。」
- 見出しキーを4回押して、見出し設定の取り消しを選択します。
♪ 「見出し設定を取り消しますか？」
- #キーを押して「見出し設定の取り消し」を実行します。
♪ 「決定 実行しました。」
(結果) これで「周吉は泣きながらそう言った。」に付けられていた見出し設定が削除されました。
- 送りキーを押して「第2章 二人だけの旅行」というフレーズに移動します。
♪ 「第2章 二人だけの旅行」
- 見出しキーを2回押して、「見出し設定」を選択します。
♪ 「見出しを設定しますか？」
- #キーを押して「見出し設定」を実行します。
♪ 「決定 実行しました。」
(結果) これで「第2章 二人だけの旅行」に見出しが設定されました。

7.2 ページの確認と修正を行います

7.2.1 ページ設定の確認

ここではページ設定の確認方法を説明します。

<操作方法>

1. 3キーを押して「編集再生」を選択します。
 - ♪ 「通常再生」「編集再生」
2. 先頭に移動するために、見出しキーを押してから、#キーを押します。
 - ♪ 「移動先の見出し番号を入力 番号無しでタイトル先頭に移動 0番で最後に移動」
 - ♪ 「決定、先頭です。」
 - (ポイント) 編集再生の場合、先頭にジャンプした後、先頭フレーズは再生されません。
3. 2キーまたは8キーを押して検索レベルを「ページ」に合わせます。
 - ♪ 「レベル1」「グループ」「ページ」
4. 6キーを押して先頭ページ(1ページ)に移動して、音声の内容を確認します。
5. 以下同様に6キーを押して、次のページに移動し、最終ページまで内容確認を行います。

7. 2. 2 ページの修正

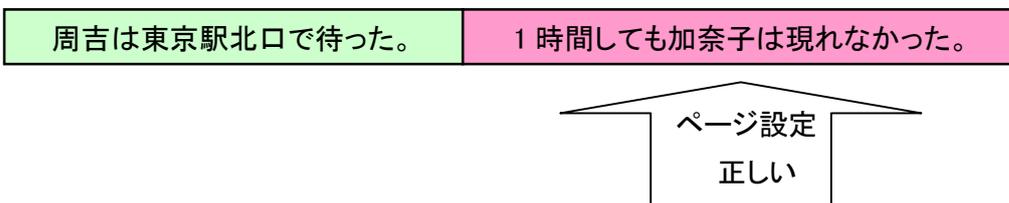
ここでは、ページが誤った位置に付けられていた場合の修正方法を説明します。
例として、正しい位置の一つ前のフレーズにページが設定されていた場合の修正方法を示します。

例

訂正前



訂正後



<操作方法>

1. 3キーを押して「編集再生」を選択します。
♪ 「通常再生」「編集再生」
2. ダイレクトページジャンプ機能などで誤って設定されているページに移動します。
♪ 「ページ〇〇 周吉は東京駅北口で待った。」
3. ページキーを3回押して、ページ設定の取り消しを選択します。
♪ 「ページ設定を取り消しますか？」
4. #キーを押して「ページ設定の取り消し」を実行します。
♪ 「決定 実行しました。」
(結果) これで「周吉は東京駅北口で待った。」に付けられていたページ設定が削除されました。
5. 送りキーを押して「1時間しても加奈子は現れなかった。」というフレーズに移動します。
♪ 「1時間しても加奈子は現れなかった。」
6. ページキーを2回押して、「ページ設定」を選択します。
♪ 「ページを設定しますか？」
7. #キーを押して「ページ設定」を実行します。
♪ 「決定 実行しました。」
(結果) これで「1時間しても加奈子は現れなかった。」にページが設定されました。

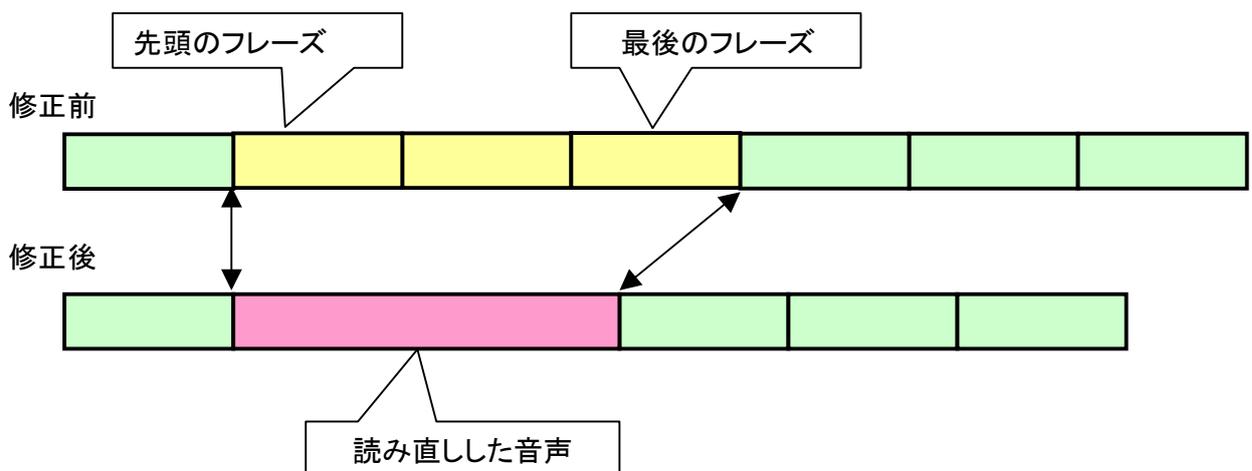
7.3 読み直したい箇所にパンチイン録音します

パンチイン録音では、読み間違えていたフレーズを指定し、そのフレーズごと読み直して録音することで簡単にはめ込み録音(置き換え)することができます。なおはめ込み(置き換え)対象は、連続した1つ以上のフレーズを指定できます。

<操作方法>

1. 1キーを押して、「パンチイン」を選択します。
♪ 「挿入」「パンチイン」
2. 録音キーを押します。
♪ 「パンチイン 4、6キーで先頭を選択」
3. 4キーか6キーを押して、読み間違えた先頭フレーズを選び、#キーを押します。
♪ 「決定 パンチイン 4、6キーで最後を選択」
4. 6キーを押して、読み間違えた最後のフレーズを選び、#キーを押します。
♪ 「決定 録音先カード 現在の設定 DAISY形式 カスタム設定 入力 外付けマイク」
5. 録音音量確認状態後、録音キーを押して録音します。
6. 再生/停止キーを押して録音を停止します。
(結果) 指定した先頭のフレーズから最後のフレーズまでが、読み直した音声で置き換られます。
(ポイント) 置き換える前の録音時間と、置き換え後の録音時間は同じである必要はありません。

<パンチイン録音の説明>



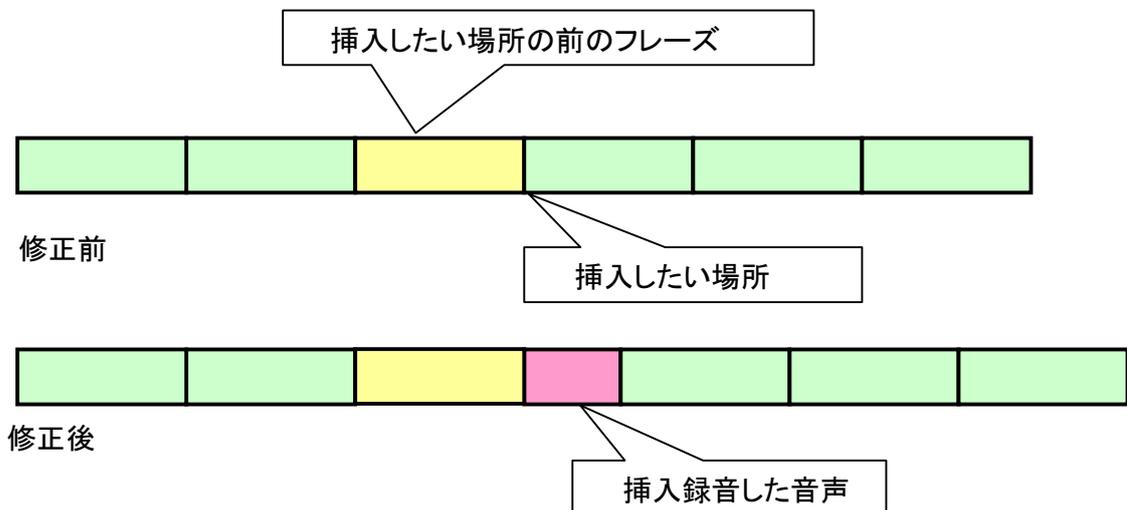
7.4 読み忘れした箇所に挿入録音します

ここでは読み忘れした箇所に挿入録音する方法を説明します。

<操作方法>

1. 1キーを押して、「挿入」録音を選択します。
♪ 「パンチイン」「挿入」
2. 3キーを押して「編集再生」を選択します。
♪ 「通常再生」「編集再生」
3. 戻しキーか送りキーを押して、挿入したい場所の前のフレーズに移動してから録音キーを押します。
♪ 「音量確認 録音先カード 現在の設定 DAISY形式 カスタム設定 入力 外付けマイク」
4. 録音音量確認状態後、録音キーを押して録音します。
5. 再生/停止キーを押して録音を停止します。
(結果) 録音した音声、指定場所に挿入されます。
(確認) 挿入録音した部分を連続再生で聞いてみたときに、違和感がないことを確認してください。

<挿入録音の説明>



7.5 間違った音声や不要な音声を削除します(フレーズ切り取り)

ここでは不要なフレーズを削除する方法を説明します。

フレーズ切り取りでは、1つ以上の連続したフレーズを一度に削除することができます。

<操作方法>

1. 再生場所を、削除したいフレーズ付近に合わせてから、5キーを押して、「編集」を選択して#キーを押します。
 - ♪ 「メニュー 編集 決定」
 - ♪ 「編集項目を選択、録音編集情報の保存」
2. 4または6キーを押して、編集項目から「フレーズ切り取り」を選択してから、#キーを押します。
 - ♪ 「4、6キーで先頭を選択」
3. 4または6キーを押して、削除したい最初のフレーズに移動してから、#キーを押します。
 - ♪ 「決定、4、6キーで最後を選択」
4. 6キーを押して、削除したい最後のフレーズに移動してから、#キーを押します。
(1フレーズのみを削除したい場合には、そのまま#キーを押します。)
 - ♪ 「決定、フレーズ切り取りを実行しますか？」
5. 実行する場合には#キーを押します。
 - ♪ 「決定、……、実行しました。」
 - (結果) 指定したフレーズが削除されます。

7.6 フレーズを移動します(フレーズ切り取りとフレーズ貼り付け)

ここではフレーズを移動する方法を説明します。

フレーズを移動するには、まず移動したいフレーズに対して、「フレーズ切り取り」を実行してから、その後で、移動したい場所に「フレーズ貼り付け」を実行します。

<操作方法>

1. 再生場所を、移動したいフレーズ付近に合わせてから、5キーを押して、「編集」を選択して#キーを押します。
 - ♪ 「メニュー 編集 決定」
 - ♪ 「編集項目を選択、録音編集情報の保存」
2. 4または6キーを押して、編集項目から「フレーズ切り取り」を選択してから、#キーを押します。
 - ♪ 「4、6キーで先頭を選択」
3. 4または6キーを押して、移動したい最初のフレーズに移動してから、#キーを押します。
 - ♪ 「決定、4、6キーで最後を選択」
4. 6キーを押して、移動したい最後のフレーズに移動してから、#キーを押します。(1フレーズのみを移動したい場合には、そのまま#キーを押します。)
 - ♪ 「決定、フレーズ切り取りを実行しますか？」
5. 実行する場合には#キーを押します。
 - ♪ 「決定、……、実行しました。」
 - (結果) 移動したいフレーズが切り取りされます。
6. 再生場所を、切り取ったフレーズを貼り付けたい付近に合わせてから、5キーを押して、「編集」を選択して#キーを押します。
 - ♪ 「メニュー 編集 決定」
 - ♪ 「編集項目を選択、録音編集情報の保存」
7. 4または6キーを押して、編集項目から「フレーズ貼り付け」を選択してから、#キーを押します。
 - ♪ 「4、6キーで貼り付け位置を選択」
8. 4または6キーを押して、貼り付けたい場所の、直後のフレーズを選択してから、#キーを押します。(ここで選択したフレーズの前に貼り付けされます。)
 - ♪ 「決定、フレーズ貼り付けを実行しますか？」
9. 実行する場合には#キーを押します。
 - ♪ 「決定、実行しました。」
 - (結果) 切り取ったフレーズが目的の場所に貼り付けされます。

8. バックアップと CD ファイナライズ

PC カードに録音した内容を、校正者に渡して校正してもらう場合や、録音した内容のバックアップを取っておきたい場合は、PC カードの内容を CD-R や CD-RW にバックアップします。

またPTR1以外の DAISY プレーヤで再生するには、CD ファイナライズを行います。

8.1 カードからディスクにバックアップします

＜操作方法＞(PC カードが挿入されていて停止状態時)

1. 新しいCD-R/RW を挿入します。
♪ 「ディスク しばらくお待ちください 新しいCDです DAISY 図書がありません 録音キーで新規タイトル作成」
2. 2キーを押して、メディア選択レベルにします。
♪ 「メディア選択 ディスク」
3. 6キーを押して、メディアをディスクから PC カードに変更します。
♪ 「カード しばらくお待ちください DAISY 図書です。」
4. 5キーを押してメニューを選び、4または6キーでメニューの中から「バックアップ」を選択して#キーを押します。
♪ 「メニュー 編集」→「バックアップ」→「決定」
♪ 「カードからディスクにバックアップするディスクの形式を選択 DAISY形式」
5. #キーを押して、バックアップする形式を「DAISY 形式」に指定します。
♪ 「選択中タイトルをバックアップしますか？」
6. #キーを押して、PC カードからディスクへのバックアップを実行します。
♪ 「決定」「チャララランララン」……
(録音時間によりバックアップ時間は異なります。)
♪ 「実行しました。」
(ポイント)バックアップ中に再生/停止キーを押すとパーセントで進捗状況と残り時間をガイドします。

8.2 CDファイナライズします

PCカードからディスクにバックアップした図書を、PTR1以外のDAISYプレーヤ(プレクストーク<TK-300>やビクターリーダー、PC上でLP Player)で再生するには、CDファイナライズを行う必要があります。PTR1のみで使用する場合は、CDファイナライズ処理は不要です。

CDファイナライズには「追記可能」と「追記禁止」があり、「追記可能」を選択した場合は、再編集が可能です。しかし、「追記禁止」を選択すると、再編集することができません。変更を加えられたくない場合には「追記禁止」を選択して実行します。

*** CDファイナライズを行ったCDは、コピー機の種類によっては、マスターとして使用できない場合があります。**

<操作方法>(停止状態時)

1. 2キーを押して、メディア選択レベルにします。
♪ 「メディア選択 カード」
2. 6キーを押して、メディアをPCカードからディスクに変更します。
♪ 「ディスク しばらくお待ちください DAISY 図書です」
3. 5キーを押してメニューを選び、4または6キーでメニューの中から「メディア管理」を選択して#キーを押します。
♪ 「メニュー 編集」→「メディア管理」→「決定」
♪ 「管理項目を選択 CDファイナライズ」
4. #キーを押して、CDファイナライズを指定します。
♪ 「決定 CDファイナライズの方法を切り換え 追記可能」
5. 4または6キーを押して「追記可能」か「追記禁止」を選び、#キーを押して、CDファイナライズを実行します。
♪ 「決定 実行しますか？」
6. #キーを押して実行します。
♪ 「決定」「チャララランララン」……
(録音時間や見出し数、フレーズ数などによりバックアップ時間は異なりますが、約5分間かかります。)
♪ 「実行しました。ディスク DAISY図書です。」
(ポイント)CDファイナライズ中に再生/停止キーを押すとパーセントで進捗状況と残り時間をガイドします。

9. その他の機能

9. 1 PCカードに録音した内容を全消去します

<操作方法>(停止状態時)

- 5キーを押してメニューを選び、4または6キーでメニューの中から「メディア管理」を選択して、#キーを押します。
 - ♪ 「メニュー 編集」→「メディア管理」→「決定」
 - ♪ 「管理項目を選択 CD ファイナライズ」……
- 4または6キーを押して「カード内容全消去」を選び、#キーを押して、カード内容全消去を選択します。
 - ♪ 「決定 消去しますか？」
- #キーを押して、カード内容全消去を実行します。
 - ♪ 「決定」「チャララランララン」……
 - ♪ 「消去しました。カード、しばらくお待ち下さい。DAISY 図書がありません。録音キーで新規タイトル作成」

9. 2 CD-RWの内容を全消去します

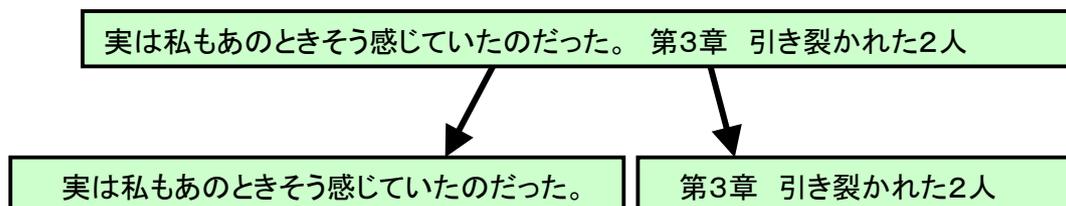
<操作方法>(停止状態時)

- 5キーを押してメニューを選び、4または6キーでメニューの中から「メディア管理」を選択して、#キーを押します。
 - ♪ 「メニュー 編集」→「メディア管理」→「決定」
 - ♪ 「管理項目を選択 CD ファイナライズ」……
- 4または6キーを押して「CDRW 内容全消去」を選び、#キーを押して、CDRW 内容全消去を選択します。
 - ♪ 「決定 消去しますか？」
- #キーを押して、カード内容全消去を実行します。
 - ♪ 「決定」「チャララランララン」…… (録音時間に関係なく、約 20 分かかります。)
 - ♪ 「消去しました。ディスク、しばらくお待ち下さい。DAISY 図書がありません。録音キーで新規タイトル作成」

9. 3 フレーズを分割します

1つのフレーズを、2つに分割することができます。フレーズがうまく切れていなかった場合に使用します。

例



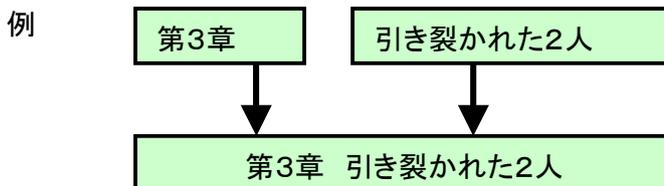
<操作方法>(停止状態時)

- 5キーを押してメニューを選び、メニューの中から「編集」を選択して、#キーを押します。
 - ♪ 「メニュー 編集」→「決定」
 - ♪ 「編集項目を選択 録音編集情報の保存」……
- 4または6キーを押して「フレーズ分割」を選び、#キーを押して、フレーズ分割を選択します。
 - ♪ 「決定 4, 6キーでフレーズを選択」
- 4または6キーを押して、分割したいフレーズを選択し、#キーを押します。
 - ♪ 「決定 #キーで分割位置を決定」
 - (選択したフレーズが繰り返し再生されます。)

4. 分割したい部分が再生された瞬間に#キーを押します。
 ♪ 「決定 フレーズ分割を実行しますか？4, 6キーで分割状況を確認できます。」
 (ポイント) スピード(再生速度)を下げると、分割位置を指定しやすくなります。
5. 4キーで前半フレーズが再生され、6キーで後半フレーズが再生されます。その場所で分割する場合は#キーを押します。(分割場所を修正する場合には*キーを押して、4に戻します。)
 ♪ 「決定 実行しました。」

9. 4 フレーズを結合します

連続した2つのフレーズを1つのフレーズに結合することができます。見出しフレーズなどで使用します。



<操作方法>(停止状態時)

1. 5キーを押してメニューを選び、メニューの中から「編集」を選択して、#キーを押します。
 ♪ 「メニュー 編集」→「決定」
 ♪ 「編集項目を選択 録音編集情報の保存」……
2. 4または6キーを押して「フレーズ結合」を選び、#キーを押して、フレーズ結合を選択します。
 ♪ 「決定 4, 6キーでフレーズを選択」
3. 4または6キーを押して、結合したい2つのフレーズのうち、1つ目のフレーズ(例では「第3章」)を選択して、#キーを押します。
 ♪ 「決定 フレーズ結合を実行しますか？」
4. #キーを押してフレーズ結合を実行します。
 ♪ 「決定 実行しました。」

9. 5 誤って実行した編集を元に戻します

編集作業で誤って実行したものを、1回に限り元に戻すことができます。元に戻せるのは下記に示す15項目です。

- メニューからの編集項目
 - (1)フレーズ切り取り (2)フレーズコピー (3)フレーズ貼り付け (4)フレーズ分割 (5)フレーズ結合
 - (6)セクション切り取り (7)セクションコピー (8)セクション貼り付け (9)セクションレベル設定
 - 見出しキーやページキーからの編集項目
 - (10)見出し設定 (11)ページ設定 (12)グループ設定 (13)見出し設定取り消し (14)ページ設定取り消し
 - (15)グループ設定取り消し
- (ご注意) 電源を切ったり、メディアをカードからディスクに変更した場合は、元に戻すことができません。

<操作方法>(停止状態時)

1. 5キーを押してメニューを選び、メニューの中から「編集」を選択して、#キーを押します。
 ♪ 「メニュー 編集」→「決定」
 ♪ 「編集項目を選択 録音編集情報の保存」……
2. 4または6キーを押して「直前編集取り消し」を選び、#キーを押して、直前編集取り消しを選択します。
 ♪ 「決定 直前編集取り消しを実行しますか？」
3. #キーを押して、直前編集取り消しを実行します。
 ♪ 「決定 実行しました。」

9.6 録音編集情報を保存します

録音または編集で処理を行った最新の情報をメディア(CD-R/RW または PC カード)に保存します。保存後はメディアが再認識されます。

大切なデータを編集している場合には、こまめに「録音編集情報の保存」を実行することをお勧めします。CD-R/RW の場合には、万一、メディアに書き込みエラー等が発生し、読めない状態になった場合、「保存情報の検索」機能(9.7 項参照)によって、「録音編集情報の保存」を実行したところまでは、復旧できる可能性があります。なお編集メニューからの実行以外に次の操作を行うと自動的に「録音編集情報の保存」が実行されます。

(1) CD-R/RW の場合

- ・ 電源を切るとき
- ・ CD を排出するとき
- ・ CD ファイナライズを実行するとき

(2) PC カードの場合

- ・ 電源を切るとき
- ・ メディア選択で「カード」から「ディスク」に変更するとき

<操作方法>

1. 5キーを押してメニューを選び、メニューの中から「編集」を選択して、#キーを押します。
♪ 「メニュー 編集」→「決定」
♪ 「編集項目を選択 録音編集情報の保存」……
2. 4または6キーを押して「録音編集情報の保存」を選び、#キーを押します。
♪ 「決定」録音編集情報の保存 実行しますか？」
3. #キーを押して、実行します。
♪ 「決定 編集を保存しています。」
♪ 「ディスク(カード) しばらくお待ちください。DAISY 図書です。」

9.7 保存情報を検索します

※ この機能は CD-R/RW メディアに録音した内容が、再生できなくなった場合にのみ使用するものです。録音・編集やバックアップ中に、CD-R/RW メディアに書き込みエラー等の異常が発生し、録音した内容が再生できなくなった場合に、この機能を使用することで、過去に「録音編集情報の保存」(9.6 項参照)を実行したところまで、再生できる可能性があります。この機能は DAISY 形式で記録された CD-R/RW メディアに対して実行できます。

<操作方法>

1. 5キーを押してメニューを選び、メニューの中から「メディア管理」を選択して、#キーを押します。
♪ 「メニュー メディア管理」→「決定」
♪ 「管理項目を選択 CD ファイナライズ」……
2. 4または6キーを押して「保存情報の検索」を選び、#キーを押します。
♪ 「決定」前回保存した情報を検索しますか？」
3. #キーを押して、実行します。
数秒～数時間後、検索に成功した場合は、CD を再認識します。
♪ 「ディスク しばらくお待ちください。DAISY 図書です。」

(ポイント)

この機能によって再生できる状態になった場合、「録音編集情報の保存」もしくは「CD ファイナライズ」を実行し、これらの処理が成功すれば、通常の再生ができるようになります。ただし書き込みエラー等が起きやすい状態のため、失敗する場合があります。その場合は、一旦 PC カードにバックアップし、その後で PC カードから他の CD-R/RW メディアにバックアップしてください。

以前「録音編集情報の保存」を実行したポイントを、順々に遡って検索していくことができます。これ以上戻れないときには、「これ以上検索する情報がありません。」という音声ガイドがあります。

「録音編集情報の保存」機能を実行中、途中でキャンセルしたい場合は、キャンセルキーを押します。

(ご注意)

この機能によって再生できる状態になった場合でも、過去に書き込みエラー等の異常がメディアに発生しているため、追加録音は行わないでください。

「保存情報の検索」機能の実行には、数時間かかる場合もあります。

10. 質問コーナー

Q1. PTR1で作成した DAISY 図書を他のプレーヤで扱う際の注意点を教えてください。

- プレクストーク(TK-300/300B)の場合
録音設定の音質で「PCMステレオ」、「MP3 128kステレオ」を選択して作成した DAISY 図書は再生できませんが、それ以外のモノラルで作成した DAISY 図書であれば再生可能です。また図書を作成した後に、CD ファイナライズ処理を実行してください。CD ファイナライズを実行しない場合、TK-300/300B で再生することはできません。
- ビクターリーダーの場合
図書を作成した後に、CD ファイナライズ処理を実行してください。CD ファイナライズを実行しない場合、ビクターリーダーで再生することはできません。
- LP Player の場合
図書を作成した後に、CD ファイナライズ処理を実行してください。CD ファイナライズを実行しない場合、LP Player で再生することはできません。

Q2. ディスクを挿入したときに「再生できないディスクです」というガイドが出ます。

- 未対応のディスクを挿入している可能性があります。PTR1が再生できるのは、DAISY 図書(DAISY2.0 フォーマット)、音楽 CD、MP3CD(MP3 ファイルが記録された CD)です。
- 録音図書 CD の DAISY フォーマットが「DAISY1.0」である可能性があります。なお DAISY1.0 フォーマット図書は、TK-300 では再生可能です。DAISY 図書のフォーマット 1.0 を判別する方法は、PC で CD の中をみたときに、Discinfo.html や NCC.html、SMIL がなく、RBK、PAT、DTB という拡張子名の音声ファイルが存在することです。
- ディスクに点字シールなどが貼られていた場合、ディスクが偏って回転することで、読みづらくなり、再生できないディスクとなる場合があります。
- ディスクの記録面(裏面)に指紋や汚れが付着していると、読みづらくなり、再生できないディスクとなる場合があります。その場合は、付属のクリーニングクロスで記録面をクリーニングしてください。拭き方は中心から外周に向かって放射線方向に拭いてください。円周に沿った方向には拭かないようにしてください。

Q3. ディスクが排出できません。

ディスク表面にシール等(点字シール、全面に貼りつけるタイプのラベルシール)が貼ってあると、排出時の中でひっかかり排出できなくなる場合があります。ディスクの表面にシールを貼らないようにしてください。もしそのような状態になってしまった場合は、一旦電源を切ってから、イジェクトキーを押したまま電源を入れてみてください。それでも排出できない場合には弊社お問い合わせ窓口まで、お問い合わせください。

Q4. CD への録音中やバックアップ中に「書込みエラー」というガイドが出ます。

- 推奨メディアでない場合、書込み品質が悪く、書込みエラーが起きる場合があります。
- ディスクの記録面に、傷や指紋などによる汚れがあるため。汚れの場合は、付属のクリーニングクロスで記録面をクリーニングしてください。拭き方は中心から外周に向かって放射線方向に拭いてください。円周に沿った方向には拭かないようにしてください。ディスクに傷がついてしまった場合は、新しいブランクメディアをご使用ください。

Q5. 新しい CD-RW を挿入したときに「再生できないディスクです」というガイドが出ます。

CD-RW メディアが、ポケットライトソフト用にフォーマットされている可能性があります。例えば SONY 製の CD-RW650「DF」は、あらかじめ Adaptec DirectCD 用(Adaptec 社のポケットライトソフト)にフォーマットされています。そのような CD-RW を PTR1 で使用したい場合、PTR1か、ライティングソフトを利用して「CD-RW の全消去」を実行してください。

Q6. 寿命になって交換したバッテリーはどのように廃棄すべきでしょうか？

交換後不要になったバッテリーは、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、ポリ袋に入れてください。また水に濡らした場合、発熱の恐れがありますので、水気のある場所は避けてください。バッテリーの回収方法については、リサイクル対象品ですので、プレクストークお問い合わせ窓口 03-3278-1777 までお問い合わせください。

Q7. PTR1で作成しCDファイナライズを実行した図書は、ライティングアプリケーション上でバックアップのマスターになりますか？

PTR1で作成し、CDファイナライズ(追記可能、追記禁止)したCDは、ライティングアプリケーション上のバックアップ機能のマスター側(バックアップ元)に指定した場合、バックアップに失敗することがあります。

B's Recorderでは「SCSIのエラーが発生しました。」、WinCDR6.24では、「バックアップ元ドライブからの読み出しに失敗しました。」というエラーが起き、バックアップすることができません。

したがって、CD上に書き込まれている「BookDir○」(○には数字が入ります)という名前のフォルダと、「Discinfo.html」という名前のファイルをハードディスク上に一旦コピーし、それらをCDに書き込むという方法でバックアップを行ってください。

またそのようにして作成したCDであれば、バックアップ機能のマスター側に指定できます。

Q8. PTR1で作成し追記可能CDファイナライズを実行した図書は、ライティングアプリケーション上で、追記書込みできますか？

PTR1で作成し、追記可能でCDファイナライズしたCDは、ライティングアプリケーション上で、追記書込みできない場合があります。現在のところ、Easy CD Creator、WinCDR、Neroでは追記可能で、B's Recorderでは追記できないことを確認しております。

Q9. PTR1で作成しCDファイナライズを実行した図書をTK-300で再生したとき、経過時間情報が正確でないのですが？

PTR1で作成し、CDファイナライズしたCDは、1セッションに対して1音声ファイルという形式になりません。また編集時に削除され、参照されることのない音声データも残ってしまいます。TK-300では、1セッションに対して1音声ファイルで構成された図書であれば、経過時間情報は正確にガイドされますが、そうでないものは正確な情報をガイドできません。

なおPRS(PLEXTALK Recording Software)で、音声エクスポート処理を行うことにより、1セッションに対して1音声ファイルという形式に変換され、かつ不要な音声はすべて削除されます。

Q10. SigtunaDAR 2.0.17で製作したDAISY図書は、PTR1で再編集できますか？

SigtunaDAR2.0.17で製作された録音図書CDを、PTR1上でPCカードにバックアップしたものであれば、再編集することができます。

Q11. CDファイナライズを実行することによってディスク容量は消費されますか？

CDファイナライズ処理では、DAISY2.02フォーマットファイルが作成されますが、それとは別にセッションクローズ処理のためだけに約30MBから40MBの容量が使用されます。したがってCDファイナライズの回数はいくらでも少なくした方が、容量を節約できます。

11. 索引

- C**
CDファイナライズ, 29
- D**
DAISY, 11, 12, 14, 24, 25, 28, 29
- か**
カスタム設定, 11, 12, 14, 15, 18, 24, 25
- く**
グループ, 5, 22, 31
グループ設定, 31
- せ**
セクション, 5, 7, 8, 11, 12, 19, 31
セクションレベル, 5, 8, 19, 31
- た**
タイトル, 5, 6, 11, 14, 28, 30
- は**
バックアップ, 28, 29
パンチイン録音, 24
- ふ**
フレーズ, 4, 5, 8, 11, 12, 13, 15, 16, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 29, 30, 31
- へ**
ページ, 8, 13, 17, 18, 22, 23, 31
ページ設定, 8, 22, 23, 31
- も**
モニタ音量, 9, 13
- れ**
レベル, 5, 8, 13, 14, 19, 22, 28, 29, 31
- 漢字**
音声ガイド, 4, 9, 11, 13, 14, 15, 18
外付けマイク, 11, 14, 24, 25
見出し, 5, 7, 8, 12, 13, 15, 17, 19, 20, 21, 22, 29, 31
見出し設定, 12, 19, 20, 21, 31
情報キー, 18
挿入録音, 25
送りキー, 21, 23, 25
内蔵マイク, 15, 18
編集, 4, 8, 11, 12, 13, 19, 20, 21, 22, 23, 25, 26, 28, 29, 30, 31
戻しキー, 16, 25
録音, 4, 6, 7, 8, 9, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 20, 24, 25, 28, 29, 30
録音レベル, 13
録音音量, 14, 24, 25

お問合せ先

〒386-0498

長野県上田市上丸子1078

シナノケンシ株式会社

プレクストークお問い合わせ窓口

電話:0570-064177

なお、IP電話、光電話をご利用の方は 0268-43-8151 までご連絡ください。

(月～金 9:30～12:00 13:00～17:00 土・日・祝祭日は休業)

FAXや E-mail は常時受け付けております。

FAX:0268-42-2923

E-MAIL:plextalk@skcj.co.jp

ホームページ:<http://www.plextalk.com/jp/>